

地方公共団体の DX 推進に向けた支援取組の開始 ～グローバル・オープン・イノベーション・プログラム「SmartCityX」への参画～

2020年8月26日

MS & ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（代表取締役社長：金杉恭三 以下、あいおいニッセイ同和損保）は、Scrum Ventures LLC（本社：米国サンフランシスコ市、ジェネラルパートナー：宮田 拓弥 以下、スクラムベンチャーズ）が主催する『SmartCityX^{※1}』へ参画します。

※1 各産業を代表するパートナー企業とともに、「ニューノーマル時代のスマートシティ」をテーマに、世界中のスタートアップと連携・事業共創を行うグローバル・オープンイノベーション・プログラム

1. 背景

昨今、スーパーシティ法案の成立やコロナ禍における行政サービスのオンライン化等を受け、地方公共団体のデジタルトランスフォーメーション（以下、DX）に関する取組みが急速に活性化しています。そこで、あいおいニッセイ同和損保は、従来の地方創生取組^{※2}に加え、地域への貢献を加速させるため、地方公共団体の DX 推進に向けた支援に取り組んできました。その一環として、単独での DX 推進支援に止まらず、より支援の幅を広げて効果を創出するために、複数の企業との異業種アライアンスを組成し、互いのノウハウ・アセットを最大限に活用することができないか検討を進めてきました。

今般、スクラムベンチャーズが「SmartCityX」を立ち上げることを受け、あいおいニッセイ同和損保は「SmartCityX」へ参画し、スクラムベンチャーズと共同で「さらなる地域社会・地方公共団体に貢献していく」ことを目指していきます。

※2 あいおいニッセイ同和損保は、2016年より地方創生プロジェクトを立ち上げ、地域の「まち・ひと・しごと」に係る課題への支援メニューの提供を通じて、地方創生取組みへの支援を実施

2. 概要

(1) 「SmartCityX」について

「SmartCityX」は、スマートシティを「Society 5.0」の実践の場と捉え、各業界をリードするパートナー企業と世界中の最先端のスタートアップ企業とともに、「未来のまち」を共創するグローバル・オープンイノベーション・プログラムです。

特定のエリアにおける街づくりではなく、多様な地域課題に応じて適用可能な、生活者目線で価値の高い先進サービス及びアプリケーションの共創に軸足を置きます。また、それらがデータ連携基盤によって相互連携されることで、生活者にとって利便性の高いスマートシティモデルを目指します。

また、地域課題に取り組む先進自治体や専門的な知見やネットワークを有するメンターにも参画いただき、地域課題等を具体的に理解し、実証実験に留まらない、将来の事業化と具体的なサービス・アプリケーションの社会実装に取り組んでいきます。

(2) 「SmartCityX」におけるあいおいニッセイ同和損保の取組みについて

「SmartCityX」の参画を通じ、地方公共団体における実証実験やサービス・アプリケーションの社会実装を支援していきます。

- ① 地方公共団体主導の実証実験における様々なリスクを総合的にカバーする保険商品の提供
(例：自動運転、MaaS、ドローン配送等の実証実験時のリスクを総合的にカバーする保険商品)
- ② 地方公共団体の DX を支える基盤（都市 OS 等）におけるサイバーリスク等への対策検討
(例：スマート・スーパーシティ向けサイバーセキュリティ保険の開発検討)
- ③ その他、今後市民向け展開されるオンラインサービスの安心・安全な実装への準備
(例：オンライン診療におけるリスクマネジメント等の共同研究)

3. 今後の展開

あいおいニッセイ同和損保は、「SmartCityX」の参画を通じて、地方公共団体の DX 推進支援の実績を創出し、今後、連携協定先である 300 超^{※3}の地方公共団体への全国的な展開を検討していきます。

また、地方公共団体の DX 化が進むことで様々なデータが収集・蓄積され、これらのデータを分析・

利活用することで、地域の方々のリスクに応じた保険商品を適切なタイミングで提案することが可能になると考えています。

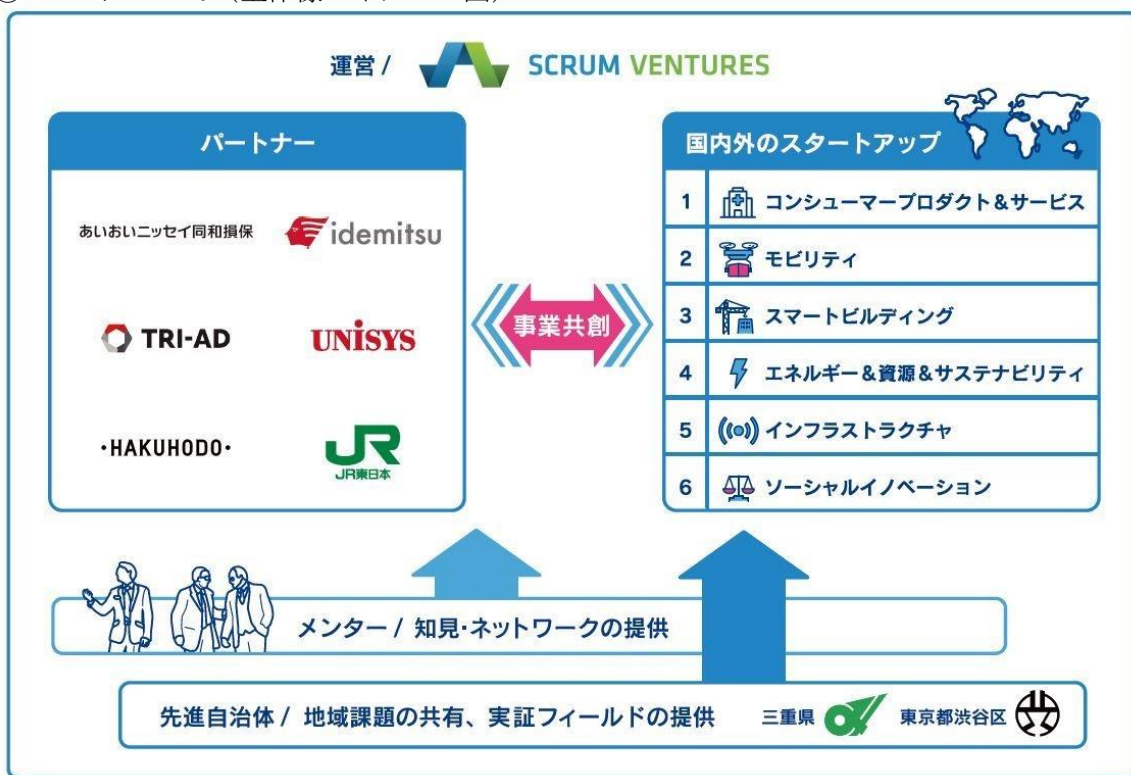
今後も両社は、共同で継続的に「SmartCityX」の取組みを推進し、地域社会・地方公共団体に貢献していきます。

※3 2020年6月30日時点、連携協定内諾先を含む

<参考①>スクラムベンチャーズの概要（「SmartCityX」の主催者）

会社名	Scrum Ventures LLC
ウェブサイト	https://scrum.vc/ja/
代表者	ジェネラルパートナー 宮田 拓弥（創業者）
本社所在地	米国・サンフランシスコ市
設立日	2013年2月
業務内容	ベンチャー投資事業、新規事業創出スタジオ事業、オンラインプラットフォーム事業
メッセージ	スクラムベンチャーズは、数多くのイノベーションが起これ続けるシリコンバレーと東京を拠点とし、新しい技術やサービスで世界を変えるアーリーステージのスタートアップに投資を実行しています。 大企業のオープンイノベーションを支援するスタジオ事業では、各業界を代表する大企業パートナーと共に、アクセラレータープログラム、共同事業創造などを行っています。また大企業とスタートアップをつなぐオンラインプラットフォーム「Scrum Connect Online」も提供しています。スクラムベンチャーズは、日本企業と世界中のスタートアップとの新たな事業、価値創造をドライブします。

<参考②>SCXについて（全体像のイメージ図）



詳細については、2020年8月26日にスクラムベンチャーズより発信されたニュースリリースをご確認ください。

※ニュースリリースは[こちら](#)

以上